

【お詫びと訂正】

平成 28 年 12 月 5 日発行の「いとまん市議会だより 第 100 号」におきまして、8 ページの大田 守議員の一般質問で赤文字箇所が抜けており、内容が分かりづらくなってしまったことをお詫びし、ここに訂正したものを改めて掲載させていただきます。

また、今回の件で市民の皆様及び関係各所の方々へご迷惑をおかけしましたことを重ねてお詫び申し上げます。

糸満市議会事務局

教育施設について



大田 守議員

①学校施設実態調査は行われているか。②行われているとすればどのような問題点があるか。③予防型保全についての見解を伺う。

教育委員会総務部長

教育委員会総務部長 ①毎年文部科学省が実施している。本市も県教育委員会を通して報告し、その結果は文部科学省のホームページ等で公表されている。②直接その結果について分析とまでは至っていない。③計画的に施設の点検、修繕等を行い、不具合を未然に防止する予防保全型の管理を目指すことが求められていると考える。

大田 耐震基準に達していない校舎では、雨のたびに雨漏りし、子供たちの授業に支障を来している。この対策を今後どのようにするのか。



快適な教育環境の整備が望まれる

教育委員会総務部長 雨漏り

については学校からの報告があつた場合、現場の確認、原因の究明を行つて、迅速な修繕等の対応を行っている。

大田 今の小中学校、ほとんどが和式トイレである。子供たちは和式を使いたがらない。また長い間使用禁止になっているところもある。そういう環境を改善してほしいという要望があったか。

教育委員会総務部長

ある中
教育委員会総務部長
学校から洋式に変えてほしいという要望があつた。財政状況を踏まえながら、段階的に洋式トイレへの切りかえを検討している。

大田 できるだけ洋式に、そして使用禁止になっているところは全て使えるような形で整備をお願いしたい。